

殺菌剤

石原フロンスайд粉剤



殺菌剤分類

29

農林水産省登録	第17559号
有効成分	フルアジナム・・・0.50%
性状	類白色粉末45 μ m以下
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	5年
包装	3kg × 8袋 20kg × 1袋

特長

- ✓ 広範の病害にすぐれた効果
あぶらな科作物の根こぶ病、ばれいしょのそうか病、粉状そうか病、ねぎの白絹病、レタスのビッグベイン病等の広範の病害に有効な土壌殺菌剤です。
- ✓ 菌密度低下効果
根こぶ病の休眠孢子に対して殺菌的に作用するため、徐々に菌密度を低下させます。
- ✓ 低濃度で安定した効果
有効成分が0.5%と低く、10 アール当たり投下有効成分量が0.15 ～ 0.2kg（全面土壌混和の場合）と少量で効果を示します。
- ✓ すぐれた残効性
土壌処理後、長期間にわたり根こぶ病による被害を抑えます。
- ✓ 根こぶ病防除では石灰類との併用で、より防除効果が高まります。
- ✓ 土壌中で適度に分解するため、水稻、野菜等の後作物には、ほとんど影響がありません。
- ✓ 蒸気圧が低く、空気中への揮散はほとんどありません。

適用作物と使用方法

作物名	適用病害名	10アール当り使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数			
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病	30～40kg	植付前	1回	全面土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和及び植付時の植溝散布は合計1回以内、植付後の散布は4回以内)			
かんしょ	基腐病	40kg				3回以内 (植付前は1回以内、植付後は2回以内)			
キャベツ	根こぶ病	15～20kg 30～40kg	は種又は定植前	2回以内 (苗床では1回以内、本圃では1回以内)	作条土壌混和	3回以内 (苗床では1回以内、本圃での土壌混和は1回以内、土壌散布は1回以内)			
	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 菌核病	40kg			全面土壌混和				
	カリフラワー ブロッコリー	根こぶ病		15～20kg 30～40kg	1回	作条土壌混和 全面土壌混和	1回		
なばな類	15～20kg 30～40kg 40kg			作条土壌混和 全面土壌混和 作条散布					
	メキャベツ かぶ			30～40kg		全面土壌混和			
								非結球あぶらな科 葉菜類 (ケール、こまつな、みずな、のざわな、なばな類を除く)	
こまつな	根こぶ病 立枯病 (リゾクトニア菌)			30kg		は種前		作条土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回以内、土壌散布は1回以内)
みずな	根こぶ病			30～40kg 20kg 15～20kg		は種又は定植前			
のざわな									
はくさい		根こぶ病 黄化病		30～40kg					
レタス 非結球レタス	すそ枯病 ビッグベイン病	30kg						全面土壌混和	
ねぎ	白絹病 小菌核腐敗病	15kg		土寄せ時 但し、収穫21日前まで		2回以内		株元散布	2回以内
たまねぎ	黒腐菌核病 紅色根腐病 べと病	40kg	定植前	1回		全面土壌混和		7回以内 (全面土壌混和は1回以内、苗根部浸漬は1回以内、散布は5回以内)	
にら にら (花茎)	白絹病	20kg	収穫30日前まで			株元散布		1回	
てんさい	叢根病	育苗培土1kg当り5～10g	は種前		土壌混和	5回以内 (は種前の土壌混和及び苗床灌注は合計1回以内、株元散布及び散布は合計4回以内)			
らっかせい	白絹病	20kg	収穫45日前まで		株元散布	1回			
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	30～40kg	は種前						

チューリップ	葉腐病	40kg	植付前		全面土壌混和	7回以内
	条斑病 微斑モザイク病					
ゆり	茎腐症 (リゾープス菌による)		定植前			3回以内

※本内容は2025年5月28日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤を使用する場合、砕土をよく行った後、所定量の薬剤を均一に散布し、土壌と十分混和してください。なお、降雨直後の処理は混和ムラの原因となるのでさけてください。
- 根こぶ病を対象に本剤を多量に使用すると、初期生育が抑制される場合があるので、適用薬量の範囲で使用してください。
- はくさいの黄化病、ばれいしょのそうか病、粉状そうか病、キャベツの苗立枯病（リゾクトニア菌）、菌核病、レタスのビッグペイン病、たまねぎのべと病に対する本剤の全面土壌混和および、ねぎの小菌核腐敗病に対する土寄せ時株元散布は、多発生条件では効果が劣る場合があるので注意してください。
- レタスの茎葉に本剤が多量にかかると薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合は注意して散布してください。
- てんさいに使用する場合、誤って多量に処理すると初期生育が抑制されるおそれがあるので適用薬量の範囲を厳守してください。
- みずかけなにを使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後2カ月以降を厳守してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意事項



- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けるようにしてください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 苗床で使用し、その苗を採苗、定植する場合には、必ず手袋を着用して作業を行い、直接苗に触れないようにしてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。

魚毒性等

水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

保管

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して冷蔵・乾燥した所に保管してください。

